

# ボーリング柱状図




調査名 災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託（梅ノ木）









ボーリングNo. 

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	広島県呉市焼山東四丁目				北緯	34° 17' 32.68111"									
発注機関	広島県 西部建設事務所 呉支社			調査期間	平成 31年 3月 14日 ~ 31年 3月 20日				東経	132° 34' 23.72646"								
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者				ボーリング責任者									
孔口標高	247.16m	角			方			地盤勾配			使用機種	試錐機		D1-B (東邦地下)		ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	9.00m	度	0°		向	180°		鉛直	90°		エンジン	NFD-13 (ヤンマー)		ポンプ	SP-40 (鉦研)			

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進	
										深 (m)	10cmごとの打撃回数									打撃回数 / 貫入量 (cm)
											0	10	20							
1				玉石混り砂礫	茶褐	中位	緩	土石流堆積物。コア長=10cm内外の硬質花崗岩玉石が点在する。マトリックスは中砂主体の混合砂で、礫分及び細粒分を多く混じる。縮まり具合はやや悪い。	0.50 1.05 1.50	1.15	5	3	3	11/30						
2									1.45	2.15	1	2	2	5/30						
3	244.21	2.95	2.95		粘土混り砂礫	淡褐	中位	砂は中砂主体の混合砂。礫はφ10~30mm程度の亜角礫主体。細粒分を多く含み不均質な土層である。	2.45	3.15	7	9	5	21/30						
4	243.01	1.20	4.15		強風化花崗岩	茶褐	中位	花崗岩の強風化帯。岩構造を明瞭に残すも、芯部まで風化が進み、土砂化が著しい。DII級、礫混り土に区分。	3.45	4.15	5	6	18	29/30						
5					強風化花崗岩	茶褐	中位	花崗岩の強風化帯。岩構造を明瞭に残すも、芯部まで風化が進み、土砂化が著しい。DII級、礫混り土に区分。	4.45	5.15	10	19	18	47/30						
6	241.16	1.85	6.00		強風化花崗岩	褐灰	極密	軟質棒状コアで採取される。指上で容易に圧砕され、砂礫状を呈する。DIII級、軟岩Iに区分。	5.45	6.05	19	31	50/20							
7					風化花崗岩	褐灰	極密	コア長=10~20cm程度の棒状コアで採取される。潜在亀裂により容易に折れる。CI級、軟岩Iに区分。	6.25	7.00	50/6		50/6							
8	239.16	2.00	8.00		風化花崗岩	褐灰	極密	コア長=10~20cm程度の棒状コアで採取される。潜在亀裂により容易に折れる。CI級、軟岩Iに区分。	7.00	8.00	貫入不能		50/0							
9	238.16	1.00	9.00		風化花崗岩	褐灰	極密	コア長=10~20cm程度の棒状コアで採取される。潜在亀裂により容易に折れる。CI級、軟岩Iに区分。	8.00	9.00	貫入不能		50/0							